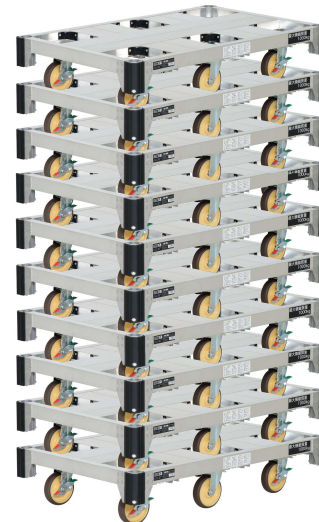
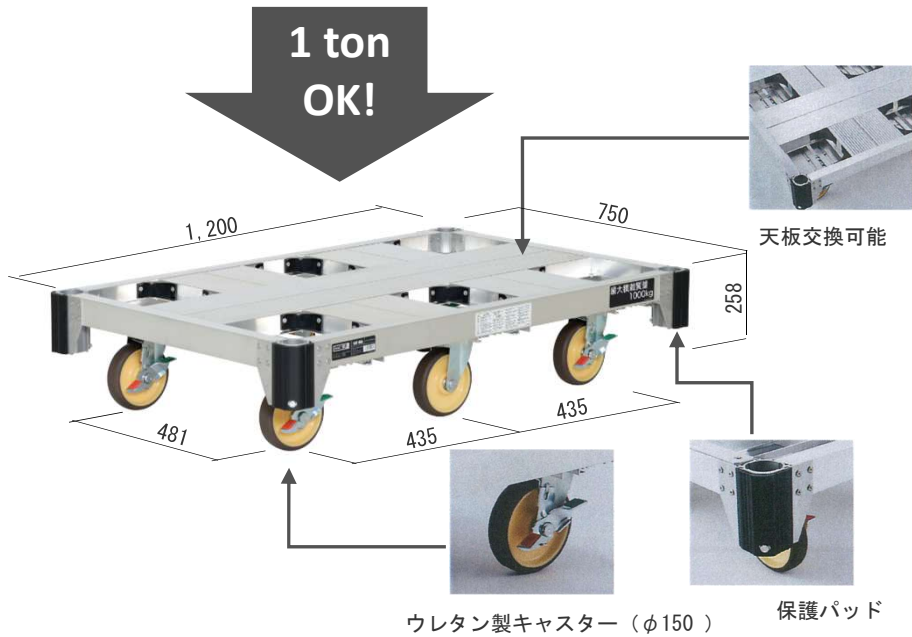


アルミ6輪台車 D6-1275A 25.7 kg

最大積載荷重 1.0 ton

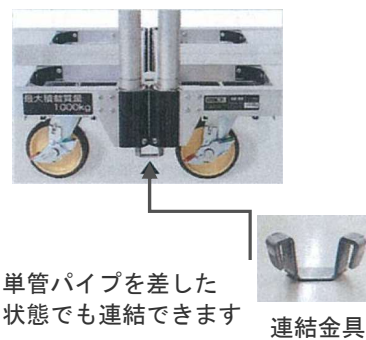
特徴

- アルミ合金製で軽量、取扱い容易です。
- 積み重ねて収納可能です。
- 大型キャスター(ウレタン製 φ150mm)を使用しています。
- 専用金具で連結可能。多くの荷物を運搬できます。
- 四隅には単管パイプを差し込み、保護パッドを装備しています。

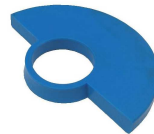


◆ オプション (販売品)

連結金具 D6-J



ハンドガード D6-HG130



単管パイプに差し込み使用します  
壁などに手を挟むのを防止します

JIS B8920 ハンドトラック による試験

- 運行性能試験  
アルミ台車の積載面2/3以上に最大積載質量を均一に負荷させ、平らなコンクリート路面上で、運行中の安定性の確認を行う。

基準内容	結果
前後進の運行および左右360°の旋回運行の安定性の確認	問題なし

- 始動性能試験  
アルミ台車の積載面2/3以上に最大積載質量を均一に負荷させ、車両進行方向と車輪90°方向の単管パイプ挿入時(高さ75cm)と積載面高さの始動性能試験を行う。

試験項目	試験内容	基準値	始動荷重
進行方向	パイプ挿入時	22.1 kg 以下	16 kg
	積載面高さ時		18 kg
90° 方向	パイプ挿入時	64.3 kg 以下	44 kg
	積載面高さ時		32 kg
異常の有無	コーナー部および本体部に異常なし		

- 荷重性能試験  
耐荷重試験  
アルミ台車の積載面に、最大積載荷重の1.5倍(1500kg)の等分布荷重を負荷した後、負荷を除き、異常の有無を調べる。

基準内容	結果
最大荷重の1.5倍の負荷時の異常の有無	問題なし

各支点間の最大たわみ量測定  
耐荷重試験後、台車わく材下部でハイトゲージを0点とし、最大積載質量を負荷し、たわみ測定を行う。

基準値	実測たわみ量
支点間距離 1/150以下(5.8 mm 以下)	0.35 mm

- 袖の強度試験  
アルミ台車を固定し、押し手の位置に水平132.6kgを負荷し異常の有無を調べる。  
\*132.6kgは始動性能試験の直進方向の基準値22.1kgの6倍の数値。

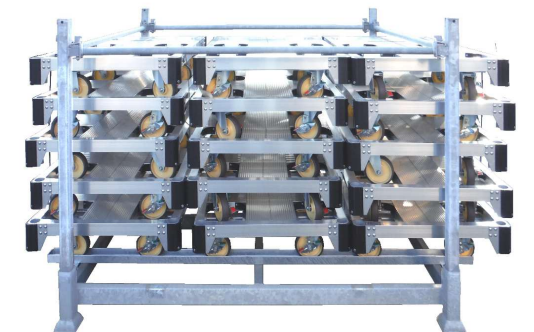
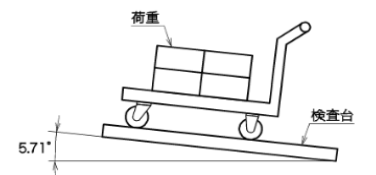
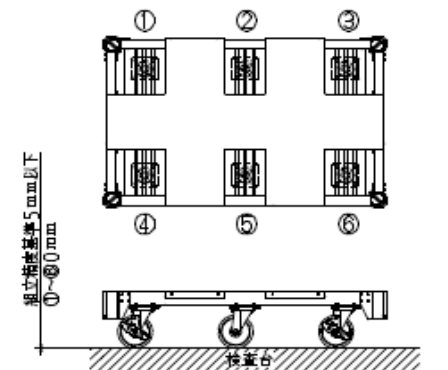
基準内容	結果
132.6kg の力を負荷し、コーナー部の異常の有無	問題なし

- 組立精度試験  
アルミ台車を検査台上で、全車輪と検査台の隙間を測定する。

基準内容	結果
荷台長さ 900~1200 mm : 5 mm 以下	問題なし

- 駐車ブレーキ性能試験  
アルミ台車の積載面に最大積載量の等分布荷重を負荷し5.71°(10%勾配)が得られる検査台形斜面上に、台車を置き駐車ブレーキを作動させ、動きの有無を確認する。

基準内容	結果
動きの有無	問題なし



使用上の注意点

- 最大積載荷重(1.0 ton/台)以内で必ずご使用ください。
- 台車を停止させる際は、必ず四隅の車輪のブレーキを全て固定(ON)して下さい。
- 段差を通過する際にはスロープを設置して下さい。キャスター破損の原因になります。
- スロープ・傾斜地でのご使用は十分注意して下さい。
- ジョイント金具をご使用の際、スロープ・傾斜地でのご使用は十分注意して下さい。金具が外れる事があります。
- 人を乗せないで下さい。